

■ 未来を担う人材の育成

スタートアップに挑戦する環境づくりに取り組むなど本道の未来を担う人材を育成します。

(政策展開の方向性)

スタートアップなど未来に果敢に挑戦する若者を支援します。また、ほっかいどう未来チャレンジ基金などを通じ、海外留学や企業インターンシップなどの挑戦への支援を充実します。時代の変化に対応する専門人材の育成やリスクリングを推進するとともに、地域の特色を生かした職業訓練などに取り組みます。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
科学技術の振興	○科学技術を担う人材の確保・育成のため、科学体験イベント「サイエンスパーク」を開催【R6.7～R7.1、参加者数1,134人、26,000アクセス】し、子どもが科学技術に触れ、関心を高めてもらう機会を創出したほか、知事表彰として、科学技術上の優れた功績のあった研究者に対する表彰を実施【R7.8名】	0204
グローバル人材等の育成	○グローバル人材の育成に向け、令和7年度助成対象者の募集・審査を実施し、海外で学び北海道に貢献しようとする9名の若者を選抜【R5:8名、R6:11名、R7:9名】 ○安定的な支援体制の構築に向け、留学を予定する基金生の壮行会【R7.7月】を実施することにより、本事業に必要な財源の確保や北海道の若者の人材育成を支援する企業・団体等の輪を拡充	0213
宇宙航空産業の振興	○スタートアップ北海道と連携し、宇宙分野の起業家との交流セミナーを開催し、宇宙分野の起業への興味関心を醸成【R7.2】 ○他分野からの宇宙ビジネス参入事例等を紹介するシンポジウムを開催し、新規参入の機運を醸成【R6.11】 ○国際宇宙産業展へ出展し道内関連企業及び北海道スペースポートをPRし認知度向上と新規販路開拓を支援【R7.1】 ○「宇宙業界探求フェア」を開催し、大学生等の若年層に対し、宇宙産業への興味関心を醸成【R6.11】 ○参加企業の人材開発につながる取組として、講習会開催【延べ22社】 ○航空機関連産業への新規参入に向け、技術習得専門家の伴走支援実施 ○国際品質規格の新規認証取得促進	0514

スタートアップ創出・集積の促進	<p>○起業に関心のある社会人等を対象としたビジネスアイデアを創出するワークショップの開催 【BASIC PROGRAM：オンラインで計5日間で開催、延べ100人参加】 【IDEA PROGRAM：道内5カ所2日間で開催、延べ143人参加】 【ADVANCED PROGRAM：5名選考しオンライン+対面により計3回実施】</p> <p>○事業計画策定から投資家とのマッチングまで一貫した伴走支援を実施</p> <p>○オープンイノベーションプログラムの実施 ・道内自治体等とスタートアップのマッチングによる実証実験への支援を実施 ・計3社とマッチングし実証実験への支援を実施</p> <p>○スタートアップ・ビザ取得者への定着支援 ・海外起業家を対象とした申請前から入国後の定着までの支援【定着支援者数：15名】</p> <p>○札幌・北海道スタートアップ・エコシステムのPR ・道外の投資家等を集めたPRイベントの開催【道内3地域、延べ600名以上、参加国：18カ国以上】</p>	0515
企業誘致の推進・集積の促進	<p>○豊富な再生可能エネルギーや冷涼な気候といった本道の立地優位性をアピールしながら、トップセールスやセミナーの開催、展示会への出展、企業訪問などの誘致活動を促進【R6：セミナー・展示会等（トップセールスを含む）20事業、企業訪問1,040件】</p>	0516
産業人材の育成	<p>○R6年度のMONOテク（高等技術専門学院）修了生（R7.3修了）の就職状況は、就職希望者192人中、就職決定者182人、うち関連業界へ173人が就職</p> <p>○離職者等の再就職を促進するため、民間教育訓練機関等に職業訓練の実施を委託し、令和6年度は840人が再就職【R7.6時点】</p> <p>○R6年度の障害者職業能力開発校修了生（R7年3月修了）の就職状況は、就職希望者11人中、就職決定者9人が就職</p> <p>○民間教育訓練機関等を活用した障害者委託訓練を実施し、R6年度は、14コースで30人が受講、9人が就職</p> <p>○中小企業の在職者を対象に必要な知識・技能の付与等を行う職業訓練を実施し、R6年度は、33コースで303人が受講</p> <p>○技能労働者の技能習得意欲の増進と技能水準及び社会的・経済的地位の向上を図るため、技能検定試験を実施し、学科83職種4,787人、実技82職種5,483人が受検</p>	0517
生涯学習・社会教育の振興	<p>○学びの活動をコーディネートする社会教育主事などの人材育成に向け、「社会教育主事講習」（A日程）を全科目オンラインで実施</p> <p>○社会教育主事講習を受講した人の学びの継続とネットワーク形成のため、「令和6年度社会教育上級研修会」を実施</p>	1108
国際理解教育の充実	<p>○異なる文化や外国人とのふれあいを深める体験交流等の機会として、R7は4大学（R6は3大学）と連携し「Hokkaido Study Abroad Program」を開催【高校生121名参加】</p> <p>○R6はカナダ・アルバータ州、アメリカ・ハワイ州及びニュージーランドとの交換留学を実施し、計30名の道側生徒を派遣</p> <p>○海外に対する関心を高めるとともに異文化に対する理解を深めるため、R6は道側高校16校が海外の学校とオンライン交流を行ったほか、道立学校生徒11名がカナダ・アルバータ州の高校生とオンライン交流を実施（自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成）</p> <p>○外国語における見方・考え方を活用して、生徒が主体的に外国語科における探究的な学びを深めることができるよう、道内4ブロックにおいて外国語科教員対象の授業研究セミナーを開催【R6：4回】</p>	1111

※主な取組については、令和7年度基本評価・事務事業評価調書（「○～」）、道ホームページ等（「◇～」）より引用・作成